

にかほ市消防本部の概要

にかほ市は秋田県の南西部に位置し、山形県と境を接する県一方の玄関口であり、秀峰鳥海山が長く裾野をひき、又、日本海の波寄せる本県唯一の温暖の地です。当消防本部は県下組合消防第1号として、昭和44年4月1日仁賀保地区消防一部事務組合の発足に伴い開署式を挙げる。昭和45年4月には構成三町の消防機関設置条例を改正し、長い歴史と伝統を誇る象潟町・金浦町・仁賀保町の各消防団が一本化体制となり、県下第1号として仁賀保地区消防団を設立する。ここに消防事務の総てを消防組合で行う事となり、一部事務組合から仁賀保地区消防組合となったものです。

平成17年10月1日には構成三町の市町村合併により、仁賀保地区消防組合をにかほ市消防本部と改名する。

R7. 4. 1現在	合 計
人 口	21, 953
世 帯 数	9, 306
面 積 km ²	241.13

仁賀保地区消防組合のあゆみ

昭和44年度

- 4月 仁賀保地区消防一部事務組合発足、職員15名採用総員24名体制となる。職員定数条例を31名とし、1本部1本署1分署体制となる。初代消防長に奥山三吉(金浦町長)が就任。仁賀保地区消防一部事務組合の火災予防条例を制定。
- 7月 本署及び仁賀保分署(10月開署予定)に消防ポンプ自動車購入配備。
 - 〃 第3分団第2部、第3分団第5部、第3分団第6部、第6分団第6部、第7分団第4部の台車付小型動力ポンプ更新配備。
- 10月 仁賀保分署を仁賀保町平沢字坂ノ下117番地に開署し、1本部1本署2分署体制となる。
- 11月 職員3名採用総員27名体制となる。
 - 〃 仁賀保地区・西目村消防相互応援協定を締結。(現:由利本荘市西目町)
- 12月 無線基地局1、移動局4購入配備。
- 2月 仁賀保町下坂の私立消防舎新築工事。
- 3月 第2代消防長に佐藤恭治(仁賀保町長)が就任。

昭和45年度

- 4月 職員1名採用総員28名体制となる。
 - 〃 象潟町、金浦町、仁賀保町消防団を改組し、仁賀保地区消防団を設立、定数条例を1, 087名とする。
- 6月 職員1名採用総員29名体制となる。
- 7月 消防本部・消防署を金浦町金浦字木の浦山19番地の2に新築移転。
- 8月 象潟分署に消防ポンプ自動車購入配備。
 - 〃 第1分団第1部、同第3部、第2分団第6部、第5分団第4部、第6分団第9部、第7分団第3部の小型動力ポンプ更新配備。
 - 〃 職員1名採用総員30名体制となる。
- 10月 仁賀保分署天井床浴室内張り工事。本署に指令車(ジープ型)購入配備。

昭和46年度

- 4月 職員定数31名を34名とする。職員3名採用総員33名体制となる。
- 5月 第2分団第2部、第2分団第4部、第2分団第7部、第3分団第1部、第4分団第3部、第4分団第4部、第4分団第5部、第5分団第3部、第5分団第4部、第7分団第7部の台車付小型動力ポンプ更新配備。
- 7月 第4分団第1部の消防ポンプ自動車更新配備。
- 10月 仁賀保地区消防一部事務組合を仁賀保地区消防組合に改める。
 - 〃 職員定数34名を41名とする。
 - 〃 救急業務を開始。職員7名採用総員40名体制となる。

昭和47年度

- 4月 職員定数41名を42名とする。職員1名採用総員41名体制となる。
 - 〃 消防団員定数1,087名を989名とする。
- 5月 職員1名採用総員42名体制となる。
- 6月 第4分団第7部、第6分団第3部、第6分団第7部、第6分団第8部、第7分団第8部の台車付小型動力ポンプ更新配備。
- 9月 第2分団第1部の消防ポンプ自動車更新配備。

昭和48年度

- 4月 職員定数42名を45名とする。
 - 〃 消防団員定数989名を948名とする。
- 5月 本署に事務連絡車を購入配備。
- 7月 職員3名採用総員45名体制となる。
 - 〃 仁賀保地区消防一部事務組合の火災予防条例を廃止。
- 8月 仁賀保地区消防組合の火災予防条例を施行。
- 10月 第3分団第4部の消防ポンプ自動車更新配備。

昭和49年度

- 4月 職員定数45名を49名とする。職員総数49名体制となる。
 - 〃 消防団員定数948名を917名とする。
 - 〃 本署消防庁舎に2階増改築工事。
- 6月 秋田県下消防本部相互応援協定を締結。(17消防本部)
 - 〃 象潟分署改築工事。
- 7月 第3分団第3部の小型動力ポンプ更新配備。
- 8月 第2分団第3部の小型動力ポンプ及び積載車更新配備。
- 3月 百目木水防倉庫移転及び基礎工事。

昭和50年度

- 4月 職員定数49名を53名とする。
 - 〃 消防団員定数917名を908名とする。
- 5月 第3代消防長に斎藤太一郎(金浦町長)が就任。
- 7月 職員総数53名体制となる。
 - 〃 象潟分署に消防ポンプ自動車購入配備。

昭和51年度

- 4月 消防団員定数908名を869名とする。
- 7月 第7分団第1部の消防ポンプ自動車更新配備。

昭和52年度

- 4月 消防団員定数869名を847名とする。
- 7月 第6分団第1部の消防ポンプ自動車更新配備。

昭和53年度

- 4月 職員定数53名を55名とする。
- 〃 消防団員定数847名を834名とする。
- 6月 第2分団第5部の消防ポンプ自動車更新配備。第5分団第7部、第7分団第2部の小型動力ポンプ更新配備。
- 8月 職員総数55名体制となる。
- 1月 本署と象潟分署に小型動力ポンプ(C-1級)を各1台配備。

昭和54年度

- 4月 消防団員定数834名を813名とする。
- 6月 第1分団第4部の消防ポンプ自動車更新配備。
- 7月 秋田県本荘市と由利郡の消防本部救急業務相互応援協定を締結。
- 〃 第6分団第5部の軽積載車更新配備。
- 10月 国土調査法に基づく地籍調査に伴い、消防本部庁舎の住所を金浦町金浦字木の浦山17番地8に変更。
- 12月 仁賀保分署を仁賀保町平沢字鳥の子淵47番地に新築移転。

昭和55年度

- 8月 第7分団第2部の積載車更新配備。
- 10月 第3分団第3部の警鐘柱新設工事。第6分団第4部の小型動力ポンプ更新配備。

昭和56年度

- 7月 本署に広報車購入配備。第7分団第5部の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。
- 11月 下坂私立消防隊の小型動力ポンプ購入配備。

昭和57年度

- 7月 第6分団第7部の軽積載車更新配備。

昭和58年度

- 7月 消防署に消防ポンプ自動車(A2級CD-Ⅱ型)購入配備。

昭和59年度

- 7月 第3分団第6部、第6分団第2部、第6分団第6部の小型動力ポンプ更新配備。
仁賀保分署に消防ポンプ自動車(A2級CD-Ⅱ型)購入配備。
- 8月 第1分団第1部の小型動力ポンプ更新配備。
- 3月 第4分団第6部の軽積載車更新配備。

昭和60年度

- 6月 第4代消防長に池田誠五郎(象潟町長)が就任。
- 11月 第4分団第7部の軽積載車更新配備。第5分団第2部の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。
- 12月 第1分団第3部の小型動力ポンプ更新配備。
- 3月 第2分団第6部、第5分団第5部の小型動力ポンプ更新配備。

昭和61年度

- 4月 消防本部に総務、予防、警防の3課を設置。
- 7月 金浦町電子サイレン新設工事。
- 11月 第2分団第2部、第2分団第7部、第6分団第5部、第6分団第9部、第7分団第4部の小型動力ポンプ更新配備。
- 〃 象潟地区防災情報伝達装置新設工事。
- 〃 関の水防倉庫改修工事。
- 3月 象潟分署を象潟町字琴和喜17番地1に新築移転。

昭和62年度

- 7月 象潟分署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅱ)購入配備。
- 10月 上浜地区防災情報伝達装置新設工事。第3分団第2部の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。
- 〃 第2分団第4部、第4分団第4部、第5分団第6部、第7分団第3部の小型動力ポンプ更新配備。
- 3月 本署に救助器具エアマイティ購入配備。

昭和63年度

- 6月 委員15名で仁賀保地区消防組合組織体制審議会を設置。
- 9月 第2分団第3部の小型動力ポンプ更新配備。
- 10月 象潟分署に救急車購入配備。
- 11月 上郷地区防災情報伝達装置新設工事。第4分団第5部、第5分団第4部、第7分団第7部の小型動力ポンプ更新配備。
- 12月 仁賀保地区消防組合組織体制審議会より、管理者に答申書が提出。
- 1月 本署増改築工事。横岡、小砂川、大須郷の私立消防隊に小型動力ポンプ購入配備。
- 2月 仁賀保分署に救急車購入配備。

平成元年度

- 4月 裃天を第1種作業服に改める。
- 5月 軽連絡車を象潟分署に購入配置。
- 9月 第4分団第3部、第5分団第3部、第6分団第7部、第6分団第8部の小型動力ポンプ更新配備。
象潟町小滝、大飯郷、舟岡、砂山の私立消防隊に小型動力ポンプ購入配備。
- 10月 消防団旗を更新。

平成2年度

- 5月 軽連絡車を仁賀保分署に購入配備。
- 6月 第2分団第3部の軽積載車更新配備。第3分団第3部、第4分団第7部、第6分団第3部、第7分団第8部の小型動力ポンプ更新配備。
- 9月 消防団分団旗を更新。
- 11月 第4分団第2部の消防ポンプ自動車更新配備。
- 3月 象潟町立石私立消防隊に小型動力ポンプ購入配備。

平成3年度

- 4月 職員定数55名を58名とする。
- 8月 本署に指令車更新配備。
- 10月 第5分団第1部の消防ポンプ自動車更新配備。
- 12月 第2分団第4部、第3分団第6部、第4分団第4部、第6分団第8部、第7分団第6部の軽積載車更新配備。

平成4年度

- 4月 職員総数58名となる。その他の職員1名。
- 5月 第5代消防長に巴徳雄(仁賀保町長)が就任。
 - 〃 仁賀保地区消防組合組織体制審議会に消防庁舎の建設位置について諮問を依頼し、答申書が提出され館ヶ森地内に決定。
- 7月 本部に広報車更新配備。
- 10月 第2分団第1部の消防ポンプ自動車更新配備。
- 12月 第1分団第2部、第3分団第3部、第5分団第5部、第6分団第2部、第7分団第3部の軽積載車更新配備。

平成5年度

- 4月 職員定数58名を60名とする。
 - 〃 職員2名採用総員60名体制となる。
 - 〃 仁賀保分署に救急車購入配備 象潟、仁賀保2台運用体制となる。
- 12月 仁賀保分署に化学消防ポンプ自動車購入配備。第1分団第3部、第2分団第2部、第4分団第3部、第6分団第3部、第7分団第4部の軽積載車更新配備。第5分団第7部の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。第7分団第2部の小型動力ポンプ更新配備。

平成6年度

- 4月 第6代消防長に村上忠蔵が就任。
 - 〃 職員定数60名を64名とする。
 - 〃 職員4名採用総員64名体制となる。その他の職員3名。
- 6月 消防団部旗を更新。
- 11月 第7分団第1部の消防ポンプ自動車更新配備。
- 12月 秋田県広域消防相互応援協定を再締結し覚書を交わす。
 - 〃 第2分団第7部、第3分団第5部、第4分団第5部、第5分団第4部の軽積載車更新配備、第6分団第4部の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。
- 3月 象潟分署に救急車更新配備。

平成7年度

- 5月 酒田地区消防組合と消防相互応援協定を締結。
- 6月 指揮広報車を日本消防協会より寄贈本署へ配備。
- 8月 第7分団第5部の小型動力ポンプ更新配備。
- 9月 本署に油圧救助器具(ホルマトロ)購入配備。
- 11月 第6分団第1部の消防ポンプ自動車(CD-I型4WD)更新配備。
- 12月 第1分団第1部、第2分団第6部、第5分団第6部、第7分団第7部の軽積載車更新配備。

平成8年度

- 10月 仁賀保分署改修工事。
- 2月 第6分団第6部の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。第5分団第3部、第7分団第8部、第6分団第9部の軽積載車更新配備。

平成9年度

- 7月 仁賀保地区消防本部庁舎建設用地測量造成設計委託業務。
- 9月 仁賀保分署改修工事。
- 12月 第1分団第2部、第3分団第5部、第7分団第6部の小型動力ポンプ更新配備。

2月 第3分団第1部に消防ポンプ自動車更新配備。第3分団第4部の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。

平成10年度

4月 仁賀保地区消防団第6分団第9部(石田)を公立消防団から私立消防団へ移行。

〃 消防団員定数813名を802名とする。

7月 仁賀保地区消防本部庁舎建設用地造成設計(修正)委託業務。

〃 〃 設計委託業務は株式会社コスモス設計。

8月 〃 建設用地造成工事は三共建設株式会社。

12月 第1分団第1部、第3分団第6部、第6分団第2部の小型動力ポンプ更新配備。

2月 第2分団第5部の小型動力ポンプ付積載車更新配備、第7分団第5部の軽積載車更新配備。

平成11年度

4月 消防団員定数802名を762名とする。

〃 第7代消防長に本藤敏夫が就任。

6月 消防団基盤緊急総合整備事業により災害防御用資機材配備。

〃 消防団基盤緊急総合整備事業により第4分団第6部の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。

11月 仁賀保地区消防組合新庁舎建設工事設計管理業務委託契約。

〃 設計業者、秋田市川尻(株)コスモス設計、特定建設工事共同企業体(村岡建設工業・三共建設) 同工事着工(H11.11.16)。

12月 第5分団第5部の小型動力ポンプ更新配備。

平成12年度

8月 (株)富士通ゼネラルと消防緊急通信指令施設仮契約。

9月 三共建設(株)と庁舎外構工事契約。

〃 (株)香楽園と庁舎植栽工事契約。秋田県総合防災情報システム移設工事。

11月 第2分団第2部、第7分団第4部の小型動力ポンプ更新配備。

1月 庁舎本体工事完成(H12.1.31) 引渡し。

3月 社団法人日本損害保険協会より高規格救急車寄贈。

〃 消防本部・消防署が金浦町字館ヶ森152番地に移転し、同日より消防緊急指令施設稼動。

平成13年度

4月 象潟分署、仁賀保分署を廃止1本部1署体制で業務を開始。消防本部に通信指令課を設置し、総務、予防、警防、通信指令の4課体制となる。

8月 松野盛吉翁遺品 秋田県消防学校から譲り受け展示。

12月 第6分団第7部の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。

2月 国道出口に緊急車出動警報装置設置。

3月 社団法人日本損害保険協会より水槽付ポンプ自動車寄贈。

平成14年度

4月 第8代消防長に高橋誠が就任。

7月 訓練大会を消防署前広場で実施。

2月 救助工作車購入配備。

〃 財団法人日本消防協会より指令車寄贈。

平成15年度

2月 第3分団第2部、第5分団第3部の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。

〃 第1分団第2部2班の小型動力ポンプ更新配備。

平成16年度

- 4月 消防団員定数762名を706名とする。
 - 〃 緊急消防援助隊登録。(消火隊)
 - 〃 仁賀保地区消防団第2、5、6、7分団の組織再編により班制を実施。
- 6月 消防無線の呼出し名称「にかほしょうぼう」から「にしょう」に変更。
- 7月 仁賀保地区消防団消防訓練大会を1日で実施。
- 10月 仁賀保地区消防組合設立35周年記念イベント、記念式典及び祝賀会を実施。
- 12月 高規格救急車の購入配備。
 - 2月 第2分団第3部2班、第4分団第4部の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。
 - 〃 第5分団第3部1班、第7分団第3部1班の小型動力ポンプ更新配備。

にかほ市消防本部のあゆみ

平成17年度

- 10月 構成町である象潟町・金浦町・仁賀保町が市町村合併しにかほ市となる。それに伴い、
にかほ市消防本部・にかほ市消防署・にかほ市消防団と改名。
 - 〃 職員定数を65名とする。
 - 〃 にかほ市火災予防条例に改正。
- 2月 災害対応特殊消防ポンプ自動車(CD－Ⅱ型4WD)購入配備。

平成18年度

- 5月 にかほ市消防団第7分団第2部3班(寺田)を公立消防団から自主防災組織へ移行。
 - 〃 にかほ市消防団旗を更新。
- 6月 第7分団が秋田県代表として、東北水防技術大会に出場し最優秀賞を受賞。
- 10月 消防団定数706名を650名とする。
 - 〃 第4分団第3部1班、第7分団第3部3班の小型動力ポンプ更新配備。
- 11月 第2分団第3部1班の小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。
 - 3月 消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型4WD)の更新配備。

平成19年度

- 4月 緊急消防援助隊登録。(救急隊)
 - 〃 にかほ市女性消防団員9名採用。
 - 〃 第9代消防長に中津博行が就任。
- 5月 にかほ市消防団第4分団第3部2班(飛)を公立消防団から自主防災組織へ移行。
- 8月 水難救助資機材配備。
- 9月 救急予備車2Bを廃車し高規格救急車配備。
 - 〃 オートパルス配備。(自動心臓マッサージ器)
 - 〃 第13回秋田県救急隊員セミナー開催。(主催:にかほ市消防本部)
- 10月 第2分団第3部3班(水岡)第5分団第2部3班(鈴)に小型動力ポンプ更新配備。
- 11月 第4分団第1部2班(赤石)第6分団第4部2班(冬師)に小型動力ポンプ付積載車更新配備。

平成20年度

- 4月 初の女性署員1名採用。
 - 〃 にかほ市消防団に支援団員制度採用。
- 6月 岩手・宮城内陸地震(宮城県栗原市)に緊急消防援助隊出動。(消防ポンプ自動車、救急車)

- 7月 運搬車購入配備。
- 12月 第4分団第2部1班(大竹)に小型動力ポンプ付積載車更新配備。
- 〃 第5分団第2部2班(芹田)に小型動力ポンプ更新配備。
- 〃 第7分団第2部2班(桂坂)に積載車更新配備。

平成21年度

- 4月 女性署員1名採用。(合計2名)
- 8月 にかほ市女性消防団員6名採用。(実員15名)
- 12月 第3分団第3部2班(大須郷)に積載車更新配備。
- 〃 第6分団第2部1班(上小国)に小型動力ポンプ付積載車更新配備。
- 〃 第7分団第3部1班(百目木)に積載車更新配備。

平成22年度

- 4月 第10代消防長に下居和夫が就任。
- 〃 緊急消防援助隊抹消。(救急隊)
- 6月 広報車(エスティマハイブリッド)更新配備。
- 7月 由利本荘市・にかほ市消防広域化協議会が設立される。
- 9月 第1分団第2部2班(象潟元町)に総務省より無償貸付救助資機材搭載型車両配備。
- 12月 第3分団第2部2班(大砂川)に小型動力ポンプ付積載車更新配備。
- 〃 第5分団第1部2班(室沢)に積載車更新配備。
- 〃 第7分団第1部2班(中野)に積載車更新配備。
- 2月 第4分団第1部1班(金浦元町)に消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型4WD)の更新配備。
- 3月 由利本荘市・にかほ市消防広域化協議会が休止される。
- 〃 東日本大震災(岩手県宮古市)に緊急消防援助隊出動。(消防ポンプ自動車、運搬車)

平成23年度

- 4月 第11代消防長に阿曾時秀が就任。
- 〃 にかほ市女性消防団員4名採用。(実員19名)
- 〃 東日本大震災(宮城県南三陸町)に緊急消防援助隊出動。(消防ポンプ自動車、運搬車)
- 8月 消防庁舎向いに緊急離着陸場整備。
- 9月 水難救助資機材配備。(救命ボート、船外機、ボートトレーラー)
- 〃 指令車2(ハイエース)更新配備。
- 10月 消防団定数650名を610名とする。
- 12月 全国共済農業協同組合連合会秋田県本部より高規格救急車寄贈。
- 3月 第5分団第1部1班(平沢)に消防ポンプ自動車(CD－Ⅰ型4WD)の更新配備。

平成24年度

- 4月 第12代消防長に柳橋稔が就任。
- 〃 女性署員1名採用。(合計3名)
- 8月 高規格救急車を改造し、水難救助車(グランビア)配備。
- 9月 消防本部南側敷地内に車庫新設。
- 11月 消防救急デジタル無線(共通波・活動波)整備 ※東北で最初に整備完了。
- 〃 消防本部西側敷地内に倉庫新設。
- 12月 第1分団第1部2班(象潟元町)に積載車更新配備。
- 〃 第6分団第1部2班(小国)に積載車更新配備。
- 〃 第3分団第2部2班(大砂川)消防ポンプ車庫新設。

平成25年度

- 4月 第13代消防長に伊東善輝が就任。
- 6月 にかほ市消防団第6分団第2部1班(上小国)を公立消防団から自主防災組織へ移行。
- 8月 秋田県総合防災訓練がにかほ市で開催。
- 9月 第19回秋田県救急隊員セミナー開催。(開催地:にかほ市)
 - 〃 第5分団第1部2班(室沢)消防ポンプ車庫新設。
- 2月 第5分団第3部2班(両前寺)に総務省より無償貸付小型動力ポンプ付き積載車、拠点資機材配備。
- 3月 高機能消防指令センター完成、運用開始。

平成26年度

- 7月 にかほ市女性消防団員1名採用。(実員17名)
- 10月 消防団定数610名を580名とする。
 - 〃 県内初のにかほ市消防団バイク隊発隊。
- 12月 高規格救急車の購入配備。
- 1月 公益財団法人日本消防協会より防災広報車(バネット) 寄贈。

平成27年度

- 10月 日本海沿岸東北自動車道 象潟インターチェンジ開通。
- 11月 にかほ市消防団デジタル受令機(車両)配備。

平成28年度

- 4月 第14代消防長に伊藤伸司が就任。
- 5月 東光鉄工株式会社よりDJI／Phantom3 Standard(ドローン) 寄贈。
- 10月 第6分団第2部1班(田抓)に消防ポンプ車庫新設。
- 3月 第2分団第1部1班(小滝)に小型動力ポンプ付普通積載車更新配備。
 - 〃 第6分団第1部3班(馬場)に小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。
 - 〃 第7分団第2部1班(畑)に小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。

平成29年度

- 4月 第15代消防長に本間徳之が就任。
- 11月 第5分団第1部1班(平沢)消防ポンプ車庫新設。
- 3月 第6分団第2部2班(杉山)に小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。
 - 〃 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入配備。

平成30年度

- 4月 にかほ市消防団第7分団第1部2班(中野)を公立消防団から自主防災組織へ移行。
- 10月 にかほ市消防署救急救命士ワッペン制作。
 - 〃 第3分団第2部1班(川袋)に小型動力ポンプ更新配備。
 - 〃 第7分団第1部3班(桂坂)に小型動力ポンプ更新配備。
 - 〃 第7分団第2部2班(立居地)に小型動力ポンプ更新配備。
- 11月 第3分団第3部2班(大須郷)に消防ポンプ車庫新設。
- 3月 高規格救急車の購入配備。
 - 〃 第3分団第1部2班(中ノ沢)に小型動力ポンプ付軽積載車更新配備。
 - 〃 第7分団第1部1班(伊勢居地)に小型動力ポンプ付普通積載車更新配備。

平成31年度・令和元年度

- 4月 にかほ市消防団応援の店事業を開始。

- 4月 にかほ市消防団第4分団第1部2班(赤石)を公立消防団から自主防災組織へ移行。
- 8月 由利組合総合病院へ高規格救急車を無償譲渡。
- 9月 第1分団第1部2班(象潟元町)に小型動力ポンプ更新配備。
- 〃 第2分団第2部2班(横岡)に小型動力ポンプ更新配備。
- 〃 第3分団第3部2班(大須郷)に小型動力ポンプ更新配備。
- 〃 第5分団第1部2班(室沢)に小型動力ポンプ更新配備。
- 〃 第6分団第1部2班(小国)に小型動力ポンプ更新配備。
- 10月 消防団定数580名を540名とする。
- 〃 令和元年東日本台風(宮城県伊具郡丸森町)に緊急消防援助隊出動。
(消防ポンプ自動車、運搬車)
- 11月 第1分団第1部(象潟元町)に消防ポンプ車庫新設。
- 3月 第6分団第1部1班(院内)に小型動力ポンプ付普通積載車更新配備。

令和2年度

- 4月 第16代消防長に加藤十二が就任。
- 〃 にかほ市消防団第2分団第1部2班(石名坂)を公立消防団から自主防災組織へ移行。
- 9月 第1分団第1部1班(象潟元町)に小型動力ポンプ更新配備。
- 〃 第2分団第2部1班(本郷)に小型動力ポンプ更新配備。
- 〃 第6分団第2部1班(田抓)に小型動力ポンプ更新配備。
- 〃 第6分団第3部1班(釜ヶ台)に小型動力ポンプ更新配備。
- 10月 にかほ市消防署に女性消防署員用仮眠室を整備。
- 11月 第3分団第1部1班(関)に小型動力ポンプ付普通積載車更新配備。
- 1月 第7分団第1部2班(畑)に消防ポンプ車庫新設。
- 2月 NET119緊急通報システムの運用開始。
- 〃 にかほ市消防署救助隊ワッペン新調。

令和3年度

- 4月 にかほ市消防団第4分団第1部2班(黒川)を公立消防団から自主防災組織へ移行。
- 〃 にかほ市消防団第6分団第1部3班(馬場)を公立消防団から自主防災組織へ移行。
- 10月 にかほ市消防団活動服を新基準のデザインに刷新。
- 11月 第5分団第3部1班(琴浦)に消防ポンプ車庫新設。
- 2月 第2分団第3部2班(大森)に総務省より無償貸付小型動力ポンプ付き積載車、救助資機材配備。
- 3月 高機能消防指令センター等部分更新。(第1期)

令和4年度

- 4月 第17代消防長に阿部光弥が就任。
- 5月 消防庁舎車庫軒裏鉄板撤去及び鉄骨塗装工事。
- 10月 消防団定数540名を460名とする。
- 〃 消防庁舎照明器具をLEDへ切り替え。
- 11月 第6分団第3部(釜ヶ台・冬師)に消防ポンプ車庫新設。
- 3月 災害対応特殊救急自動車の購入配備。
- 〃 高機能消防指令センター等部分更新。(第2期)
- 〃 職員定数65名を71名とする。

令和5年度

- 3月 高機能消防指令センター等部分更新。(第3期)

令和6年度

- 4月 第18代消防長に須田勇喜が就任。
- 11月 消防庁舎浴室個室化工事。
- 12月 第1分団第2部1班(象潟元町)に小型動力ポンプ更新配備。
 - 〃 第3分団第3部1班(小砂川)に小型動力ポンプ更新配備。
 - 〃 第5分団第2部1班(三森)に小型動力ポンプ更新配備。
- 2月 耐震性貯水槽 40 立方メートル型新設。(田抓地区)
- 3月 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車(CD- I 型) 配備。
 - 〃 岩手県大船渡市林野火災に緊急消防援助隊出動。(運搬車、指令車)
 - 〃 第2分団第2部1班(本郷)に多目的積載車を更新配備。